

2024 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科   | 医療心理科            |                 | 科 目 区 分                      | 専門分野                           | 授業の方法                 | 演習            |
|---|------------------|-----------------|------------------------------|--------------------------------|-----------------------|---------------|
| 科 目 名   | 国際医療心理学          |                 | 必修/選択の別                      | 必修                             | 授業時数(単位数)             | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年   | 2年               |                 | 学期及び曜時限                      | 後期                             | 教室名                   |               |
| 担 当 教 員   | 小川正子・加藤裕史<br>岡井豪 | 実務経験と<br>その関連資格 |                              |                                |                       |               |
| 《授業科目における学習内容》  |                  |                 |                              |                                |                       |               |
| アメリカの提携大学において、医療・福祉・心理に関連する講義や施設見学を通して日米の異同を学び、国際的な教養を養う。 |                  |                 |                              |                                |                       |               |
| 《成績評価の方法と基準》  |                  |                 |                              |                                |                       |               |
| 試験素点70% 出席評価点20% 平常評価点10%                                 |                  |                 |                              |                                |                       |               |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》   |                  |                 |                              |                                |                       |               |
| 適宜配布する  |                  |                 |                              |                                |                       |               |
| 《授業外における学習方法》   |                  |                 |                              |                                |                       |               |
| 学んだことを復習としてノートにきれいに清書し、分からない部分については必ず調べて確認しておきましょう。       |                  |                 |                              |                                |                       |               |
| 《履修に当たっての留意点》   |                  |                 |                              |                                |                       |               |
| 提携大学の都合により、一部内容が変更になることもあります。引率教員により、適宜フォローを入れて解説します。     |                  |                 |                              |                                |                       |               |
| 授業の方法   | 内 容              |                 |                              | 使用教材                           | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容 |               |
| 第1回   | 演習形式             | 授業を通じての到達目標     | 提携大学のあるアメリカの都市について、概ね理解できる   | PC<br>プロジェクター<br>スクリーン<br>レジュメ | 配布資料を通読               |               |
|   |                  | 各コマにおける授業予定     | アメリカの歴史、訪問先の気候や風土や法律、大学について等 |                                |                       |               |
| 第2回   | 演習形式             | 授業を通じての到達目標     | 戦争によるPTSDについて、症例を説明できる       | PC<br>プロジェクター<br>スクリーン<br>レジュメ | 配布資料を通読               |               |
|   |                  | 各コマにおける授業予定     | PTSDの定義、戦争帰還兵の具体的な症例 等       |                                |                       |               |
| 第3回   | 演習形式             | 授業を通じての到達目標     | PTSDの治療について説明できる             | PC<br>プロジェクター<br>スクリーン<br>レジュメ | 配布資料を通読               |               |
|   |                  | 各コマにおける授業予定     | 代表的な治療法、提携先の大学の取り組み 等        |                                |                       |               |
| 第4回   | 演習形式             | 授業を通じての到達目標     | EMDRとは何か説明できる                | PC<br>プロジェクター<br>スクリーン<br>レジュメ | 配布資料を通読               |               |
|   |                  | 各コマにおける授業予定     | EMDR、理論的背景、実際のアプローチ 等        |                                |                       |               |
| 第5回   | 演習形式             | 授業を通じての到達目標     | EMDRを体験し、経験をもとに説明できる         | PC<br>プロジェクター<br>スクリーン<br>レジュメ | 配布資料を通読               |               |
|   |                  | 各コマにおける授業予定     | EMDR体験 等                     |                                |                       |               |

| 授業の方法 |      | 内 容         |                                      | 使用教材                           | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--------------------------------------|--------------------------------|-------------------|
| 第6回   | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | アメリカの児童虐待について概ね説明できる                 | PC<br>プロジェクター<br>スクリーン<br>レジュメ | 配布資料を通読           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | アメリカの児童虐待の実際、児童虐待の種類 等               |                                |                   |
| 第7回   | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 幼少期の環境と将来への影響について概ね説明できる             | PC<br>プロジェクター<br>スクリーン<br>レジュメ | 配布資料を通読           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 幼少期の家庭環境で将来に悪影響を及ぼすもの 等              |                                |                   |
| 第8回   | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 幸福を感じる心理的要素について概ね説明できる①              | PC<br>プロジェクター<br>スクリーン<br>レジュメ | 配布資料を通読           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 幸福の心理学とは、フロイトの提示する7つの幸福の要素 等①        |                                |                   |
| 第9回   | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 幸福を感じる心理的要素について概ね説明できる②              | PC<br>プロジェクター<br>スクリーン<br>レジュメ | 配布資料を通読           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 幸福の心理学とは、フロイトの提示する7つの幸福の要素 等②        |                                |                   |
| 第10回  | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 学内託児所の役割と保育方針について心理的な重要性を説明できる       | PC<br>プロジェクター<br>スクリーン<br>レジュメ | 配布資料を通読           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 学内託児所の役割、保育方針、実際の様子 等                |                                |                   |
| 第11回  | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域児童福祉の総合サポート施設について、その役割を説明できるようになる。 | PC<br>プロジェクター<br>スクリーン<br>レジュメ | 配布資料を通読           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 地域児童福祉の総合サポート施設の役割と方針、施設見学 等         |                                |                   |
| 第12回  | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 児童虐待の保護施設について、その役割を説明できる             | PC<br>プロジェクター<br>スクリーン<br>レジュメ | 配布資料を通読           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 児童虐待の保護施設の役割と専門職、アメリカの児童虐待の実際 等      |                                |                   |
| 第13回  | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | ホームレス一時保護施設の役割について説明できる              | PC<br>プロジェクター<br>スクリーン<br>レジュメ | 配布資料を通読           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ホームレス一時保護施設の役割、施設見学、専門職 等            |                                |                   |
| 第14回  | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | アメリカの心理職と福祉職について、求められる資格や学位について説明できる | PC<br>プロジェクター<br>スクリーン<br>レジュメ | 配布資料を通読           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | アメリカの心理職・福祉職、求められる学位や資格、実際の働き方 等     |                                |                   |
| 第15回  | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 日本とアメリカの異動について、自分なりのまとめができる          | PC<br>レジュメ                     | 配布資料を通読           |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 振り返りと総まとめ                            |                                |                   |